

# 市民病院だより

## 『動脈硬化とその危険因子について』

循環器科医師 龍 俊宏

### 動脈硬化とは

動脈は、心臓から押し出された血液を全身へ運ぶ血管です。この血管が硬くなったり、いろんな物質が沈着して狭くなった状態が「動脈硬化」です。動脈硬化は、進行するまで気付かないことが多く、その結果、重大な病気を引き起こす原因となります。

### 動脈硬化によって起きる

#### 主な病気

#### ◆狭心症、心筋梗塞

心臓の筋肉に血液を供給する冠動脈は、動脈硬化が進行すると血流が減り、労作時に胸が痛くなる狭心症や、冠動脈が詰まって血流が途絶える心筋梗塞

となります。

冷汗、吐き気などを伴う胸痛が生じ急死したり、心不全を引き起こして息苦しくなったり、むくみが出たりします。

#### ◆脳梗塞、脳出血

脳の動脈硬化が進み、血管に血栓が詰まると脳梗塞となり、動脈が弱くなった部分に血管がかり、破れると脳出血を引き起こします。

その結果、意識低下や半身不随、言語、嚥下障害、認知症などの症状が出たりします。また、後遺症により寝たきりとなるケースも稀ではありません。

#### ◆閉塞性動脈硬化症

足の動脈の血流が悪くなる病気で、歩くと足が痛み、休むとまた歩けるといった症状（間欠性跛行）がみられます。進行すると安静時でも足が痛み、さらに悪化すると足に潰瘍ができた

り、壊死したりして、切断しなければならぬ場合もあります。

### 動脈硬化の危険因子

#### ◆脂質異常症

悪玉と言われるLDLコレステロールが血管壁内に入って酸化され、動脈硬化を引き起こします。善玉であるHDLコレステロールは、動脈硬化を防ぎます。LDLコレステロールは、中性脂肪が高く、HDLコレステロールが低いほど動脈硬化が進行する危険性が高いのです。

#### ◆高血圧症

動脈が高い血圧に晒されると内皮が傷つき、内皮細胞の動脈硬化を防ぐ働きが失われ、悪玉コレステロールが内皮内に入りやすい状態になり、動脈硬化が促進されます。

#### ◆糖尿病

血糖値が高いことで、血管の壁を傷つけたりして動脈硬化を進行させます。とくに、食後の血糖値の急激

な上昇は、より動脈硬化を促進させることが知られています。危険因子は、この三大習慣病のほかに年齢、肥満、喫煙、ストレス、家族歴などがあります。

### 動脈硬化の検査

・脈波伝播速度 心臓から押し出された血液によって起きた拍動が手足に届くまでの速度です。動脈が硬いほど、その速度は速くなります。

・足関節上腕血圧比 足首と上腕での血圧の比のことです。足に動脈硬化があるような場合には足での血圧が低くなる

のでこの値が低くなります。  
・頸動脈超音波検査 首の動脈を超音波検査で観察して、動脈の壁の厚さやプラークの有無等で動脈硬化の程度をはかる検査です。  
検査は、外来で30分ほどでできます。重篤な病気になる前に、定期的に検診を受け、動脈硬化の危険因子をしっかり管理していきましよう。

### 時間外受診をされる方へ

急病などでの時間外受診の場合は、必ず電話で宿日直医師の担当診療科をお問合せください。専門外の疾病の場合は、診察できませんのでご了承ください。

【問合せ】小城市民病院 ☎ 73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>